

週間漁海況情報—第26号

平成25年7月1日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

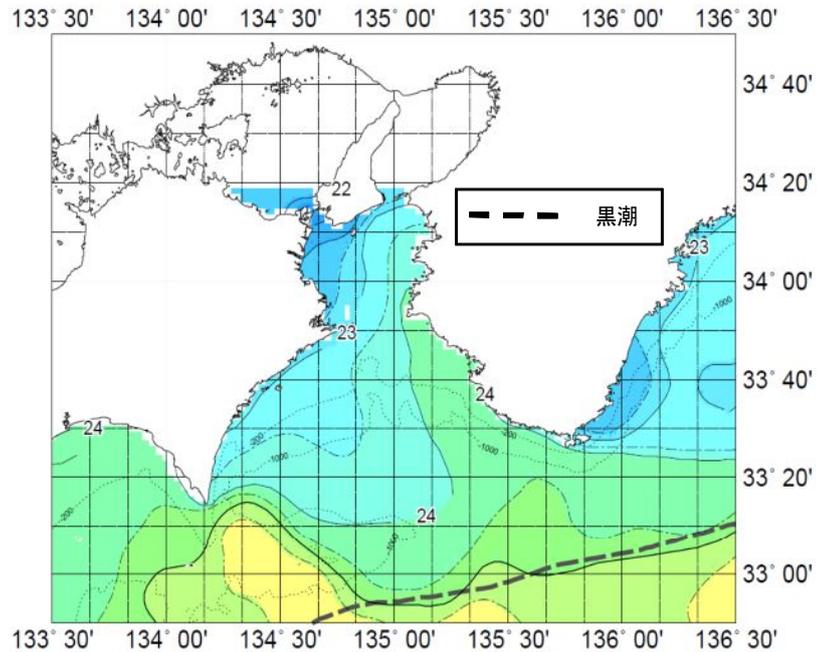
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

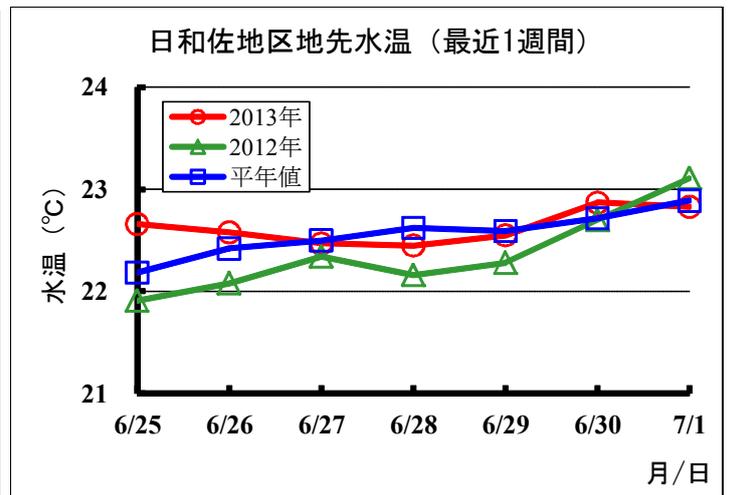
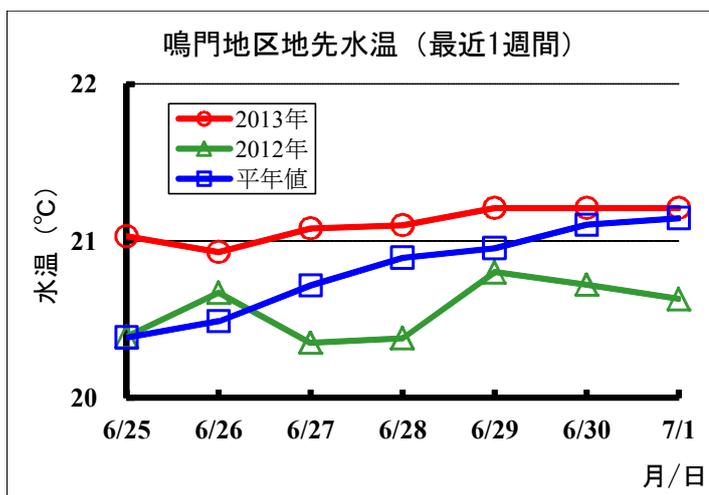
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25.7.1）を示した。

黒潮は、室戸岬でかなり離岸、潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、25～26℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で21～22℃台、紀伊水道で21～23℃台、海部沿岸で22～24℃台である。紀伊水道外域への顕著な暖水流入は確認できない。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並」～「やや高め」の20.9～21.2℃、日和佐地区は「平年並」～「やや高め」の22.5～22.9℃、牟岐地区は「平年並」～「やや高め」の22.9～23.4℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大・中主体にアカムツが1.7トン（1日1隻あたり32kg）、ニベが0.5トン（同15kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、マメ主体にマアジが0.8トン（同34kg）、ウルメイワシが0.8トン（同35kg）、小小主体にアカカマスが0.3トン（同10kg）、トビウオ類が0.2トン（同6kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、マメ主体にマアジが0.3トン（同84kg）、マルソウダが0.9トン（同215kg）、小主体にゴマサバが0.9トン（同221kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが46.0トン（同495kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 6月24日～6月30日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	53	1,697	32	大・中主体
		ニベ	33	488	15	
小型定置網		マアジ	25	839	34	マメ主体
		ウルメイワシ	23	811	35	
		アカカマス	28	277	10	
		トビウオ類	34	208	6	
大型定置網		マアジ	4	337	84	マメ主体
	マルソウダ	4	861	215		
	ゴマサバ	4	884	221		
パッチ網	紀伊水道	シラス	93	46,000	495	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の6月25日～7月1日には、海部沿岸では、小型定置網で、マイワシが4.3トン、ウルメイワシが0.8トン、マメ・小小主体にマアジが1.2トン、トビウオ類が0.5トン、カマス類が0.4トン、大型定置網で、小主体にマアジが5.3トン、中・大主体にゴマサバが0.3トン、小小主体にサバ類が1.6トン、マイワシ主体にイワシ類が1.9トン、大・中主体にイサキが0.4トン、大主体にカツオが0.2トン、釣りで、大・中主体にカツオが2.0トン、中主体にキハダが2.2トン、紀伊水道では、釣りで、特大主体にタチウオが0.4トン、シラスが36.4トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「かなり離岸」、潮岬沖において、「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の21℃台、日和佐地先で「平年並」の22～23℃台で推移する見込み。